

# I. 調査概要

---

## 1. 調査の目的

- ・国内の主要観光地を取り上げ、それぞれの観光地の魅力度、来訪経験、イメージ等を明らかにするとともに、それらを総合した指標『観光地総合力』を作成し、各観光地のもつ総合的なパワーを検証する。
- ・この調査で取り上げた主要観光地をそれぞれのイメージから、多変量解析の手法を用いてタイプ分類し、観光地のイメージポジショニングを把握する。
- ・テキストマイニングの手法を用いて、人々の観光地志向（こんな観光地が好き）を明らかにする。

## 2. 調査の方法

- ・郵送法
- ・第23回R J Cオムニバスサーベイ

## 3. 調査対象者

- ・15～69歳の男女個人

## 4. 対象者の抽出方法

- ・R J Cモニターパネルより層化無作為抽出

## 5. 調査実施地域

- ・首都圏40km圏

## 6. 有効回収数

- ・設定 1,000サンプル
- ・有効回収数 712サンプル（有効回収率：71.2%）

## 7. 調査実施時期

- ・平成16年11月4日～平成16年11月30日

## 8. 調査主体

- ・（株）流通情報センター

## 9. この調査でとりあげた観光地

この調査における観光地の定義：

- ・半日以上かけて余暇を過ごせ、イメージが比較的まとまっていると考えられるエリア

調査で取り上げた108観光地の選定：

- ・全国から主要と思われる観光地を選択した。  
調査対象者の居住地を考慮し、首都圏に近い関東、甲信越、東海・中部地域の観光地はやや多めに選択した。また、JRグループの周遊おすすめ地を中心にマスコミ等の評価や現在の話題性にも考慮して選択した。

調査票作成にあたって：

- ・調査対象者の回答時の負担を適正なものとするために、この調査で取り上げる108の観光地を2つのグループに分け、1対象者には54の観光地について質問した。

・この調査で取り上げた観光地

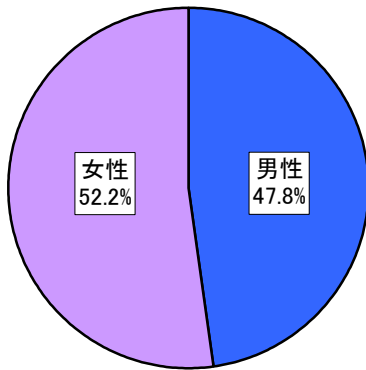
地域	観光地の名称	調査票グループ
北海道	アルファリゾートトマム	1
北海道	阿寒湖・摩周湖・屈斜路湖	2
北海道	札幌	1
北海道	小樽	2
北海道	層雲峡・大雪山国立公園	1
北海道	知床	2
北海道	登別	1
北海道	洞爺湖・昭和新山	2
北海道	函館	1
東北	十和田湖・奥入瀬溪流	2
東北	白神山地・鱒ヶ沢・深浦・十二湖	1
東北	安比高原	2
東北	三陸海岸(陸中海岸)	1
東北	平泉(中尊寺・毛越寺等)・厳美溪	2
東北	松島	1
東北	男鹿半島	2
東北	田沢湖	1
東北	蔵王	2
東北	猪苗代湖・磐梯高原・五色沼	1
東北	スパリゾートハワイアンズ	2
関東	水戸(偕楽園含む)	1
関東	那須・塩原	2
関東	日光	1
関東	鬼怒川	2
関東	水上	1
関東	草津	2
関東	万座	2
関東	尾瀬	1
関東	秩父・長瀨	2
関東	東京ディズニーリゾート	1
関東	内房	1
関東	外房	1
関東	お台場	2
関東	サンリオピューロランド	1
関東	東京(お台場地区を除く観光地)	2
関東	横浜	1
関東	鎌倉	2
関東	三浦半島・湘南	1
関東	箱根	2
甲信越	越後湯沢	1
甲信越	佐渡	2
甲信越	苗場	1
甲信越	清里・野辺山・八ヶ岳山麓	2
甲信越	富士五湖	1
甲信越	軽井沢	2
甲信越	志賀高原	1
甲信越	上高地	2
甲信越	白骨	1
甲信越	白馬(八方尾根・梅池・岩岳等)	2
甲信越	白樺湖・蓼科	1
甲信越	妻籠・馬籠	2
北陸	立山・黒部・宇奈月	1
北陸	金沢	2
北陸	能登半島	1
北陸	敦賀・若狭・東尋坊・越前海岸	2

地域	観光地の名称	調査票グループ
東海・中部	下呂	1
東海・中部	飛騨・高山	2
東海・中部	白川郷	1
東海・中部	中伊豆(修善寺・伊豆長岡等)	2
東海・中部	西伊豆(堂ヶ島・土肥等)	2
東海・中部	東伊豆(伊豆高原・熱川等)	2
東海・中部	南伊豆(下田・白浜・石廊崎等)	2
東海・中部	熱海	1
東海・中部	富士山	2
東海・中部	明治村	1
東海・中部	志摩スペイン村(パルケエスパーニャ)	1
東海・中部	伊勢・志摩・鳥羽	1
近畿	琵琶湖	2
近畿	天橋立	1
近畿	京都	2
近畿	ユニバーサル・スタジオ・ジャパン	1
近畿	大阪	2
近畿	城崎	1
近畿	神戸	1
近畿	有馬	1
近畿	姫路(姫路城含む)	2
近畿	奈良	1
近畿	南紀白浜	2
近畿	那智・勝浦	1
近畿	紀伊山地の霊場と参詣道	2
中国	大山	1
中国	鳥取砂丘	2
中国	出雲	1
中国	岡山(後楽園含む)	2
中国	倉敷	1
中国	広島(原爆ドーム含む)	2
中国	宮島(厳島神社)	1
中国	萩・津和野・秋吉台	2
四国	鳴門	1
四国	琴平	2
四国	道後	1
四国	高知(桂浜含む)	2
四国	四万十川	1
九州	スペースワールド	2
九州	博多	1
九州	吉野ヶ里遺跡	2
九州	ハウステンボス	1
九州	長崎	2
九州	阿蘇	1
九州	別府	2
九州	由布院	1
九州	シーガイア	2
九州	青島・日南海岸	1
九州	屋久島	2
九州	桜島	1
沖縄	沖縄本島リゾート・景勝地	2
沖縄	沖縄離島部(石垣島・宮古島等)	2
沖縄	那覇・首里	2

## 10. 回答者の属性

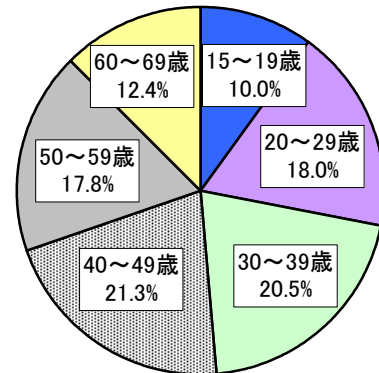
性別

N=712



年代

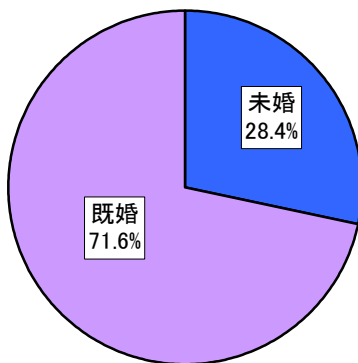
N=712



平均：40.3歳

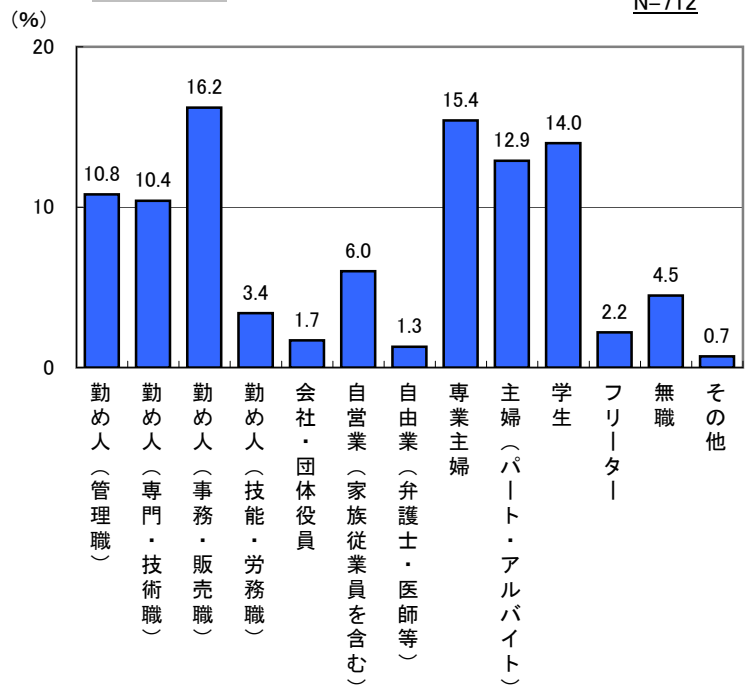
未既婚

N=712



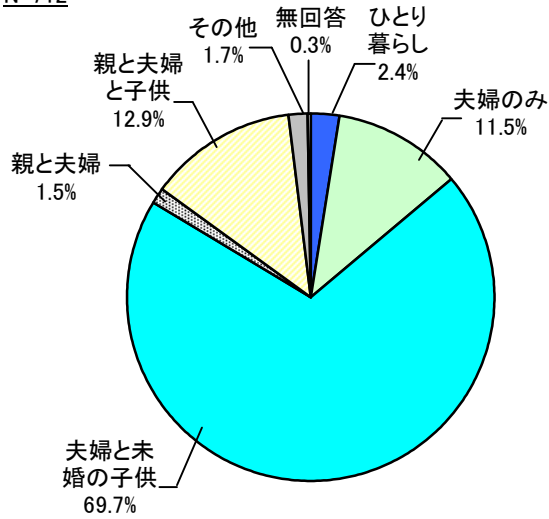
職業

N=712



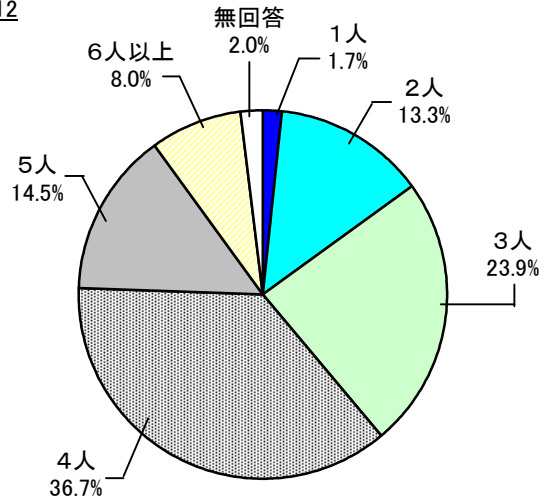
同居家族

N=712



同居家族人数

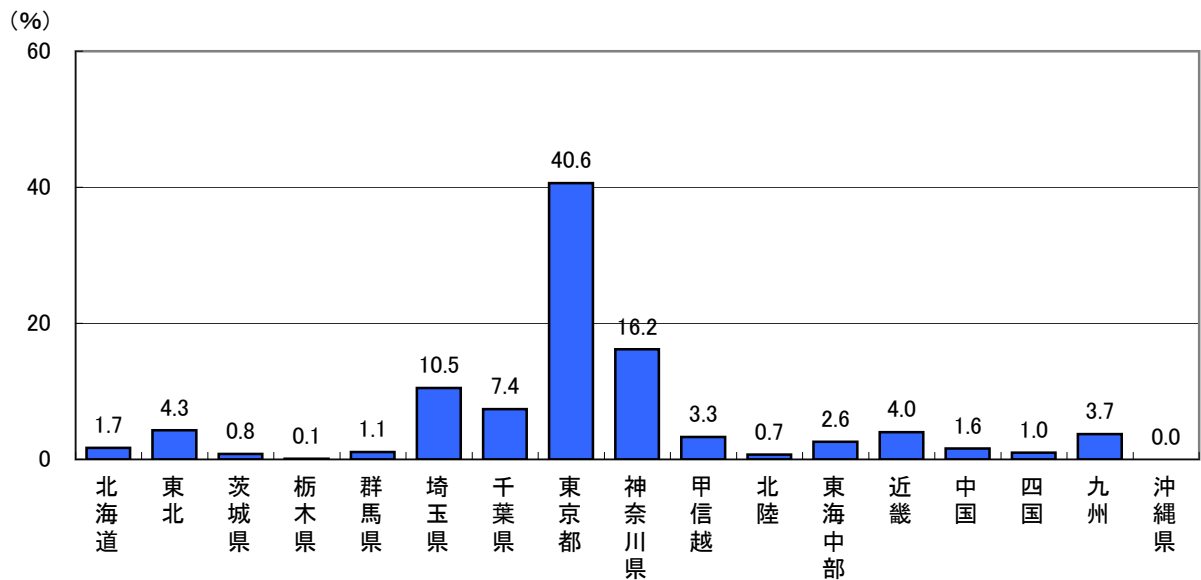
N=712



平均 : 3.8人

出身地

N=712



## Ⅱ. 調査結果の要約

### ◆旅行行動と意識

- ・ 過去1年間に国内旅行へ行った人の割合は8割、旅行回数は「2回」が最も多く21.8%、平均は、行かなかった人も含めた全体平均で2.4回。  
年代別にみると、平均回数が最も多いのは50歳以上で3.1回、次いで30代が2.2回、29歳以下が2.1回、40代が2.0回。
- ・ 旅行における積極性を表す質問への反応をみると、下記3項目は4割があてはまると回答している。「話題の観光地情報をよくチェックする」は50代以上が特に多く、「旅行の計画は率先して立てる」は女性が多い。

	「あてはまる」
・ 話題の観光地情報をよくチェックする	42.6%
・ 旅行の計画は率先して立てるほうだ	41.7%
・ 魅力的な観光地を見ると知人にすすめる	40.7%

### ◆観光地に対する志向

- ・ 人々の観光地志向（こんな観光地が好き）を自由回答でたずね、テキストマイニングの手法により、人々の観光地志向をクラスターに分類した。第一段階として21のクラスターが抽出され、更にこの内容を吟味して最終的に下記の9つのタイプに分類しこれを「観光地志向クラスター」と名付けた。（テキスト型データ解析ソフト「WordMiner®」による）

**おいしいもの探求派**・・・14.9%・・・とにかくおいしいものが好き。景色の良い宿で海の幸を味わいながらのんびりと過ごすことを好む。

**自然体験・鑑賞派**・・・12.4%・・・自然に触れたり、自然を鑑賞することを重視する。

**歴史・伝統鑑賞派**・・・12.2%・・・日本の歴史と文化を感じる場所が好きで、寺社・仏閣巡りや古都の風情を楽しむ。

**レジャー施設エンジョイ派**・・・11.9% レジャー施設が充実しており、夢があり、一日中子供から大人まで何度行っても飽きずに楽しめ、活気のある場所を好む。

**都会脱出・非日常探求派**・・・10.3%・・・海のきれいさや食べ物のおいしさ等、日常生活では味わえない雰囲気や発見を好む。

**近場でお手軽エンジョイ派**・・・9.1%・・・首都圏に近く気軽に行けて、家族みんなで四季折々楽しめる場所を好む。都会では味わえない気分もお手軽に楽しみたい。

**街の雰囲気口マン派**・・・8.4%・・・その街独特の雰囲気があり、異国情緒等が感じられる場所を好む。

**温泉と景色鑑賞派**・・・5.8%・・・温泉でくつろげて、景色の素晴らしい場所を好む。

**その他**・・・9.1%

## ◆観光地総合力

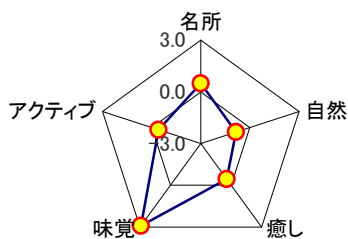
- それぞれの観光地の、認知度、魅力度、来訪経験、来訪意向、トータルイメージスコアを、主成分分析により統合し『観光地総合力』という指標を作成した。
- 『観光地総合力』の第1位は「京都」で、スコア（79.1）は2位以下に比べ特に高い。また京都は「魅力度」「来訪意向」「トータルイメージ」の各項目で第1位である。年代別にみると、29歳以下から50歳以上の全年代層で京都が1位にランクした。
- 『観光地総合力』の2位（横浜）、3位（箱根）、4位（鎌倉）は、ほぼ同じスコアで並ぶ。第5位の「東京ディズニーリゾート」は年代によるランキングの差が大きく、29歳以下では2位、30代では3位だが、40代では7位、50歳以上では20位以下である。

観光地総合力ベスト10			認知度スコア	魅力度スコア	来訪経験率(%)	来訪意向率(%)	トータルイメージスコア
順位	観光地名	観光地総合力					
1	京都	79.1	77.4	77.9	88.7	78.8	442.2
2	横浜	72.1	85.2	65.6	93.3	69.8	290.4
3	箱根	71.3	79.4	61.3	89.3	65.8	332.4
4	鎌倉	71.0	79.2	64.9	88.1	67.5	308.2
5	東京ディズニーリゾート	68.9	86.7	60.3	91.3	65.9	235.9
6	軽井沢	67.9	74.1	52.1	78.0	58.2	348.9
7	沖縄本島リゾート・景勝地	67.2	58.0	63.6	39.8	73.4	385.9
8	札幌	66.0	71.4	61.1	66.5	69.6	262.6
9	函館	64.4	67.0	58.2	50.6	65.6	300.4
10	沖縄離島部(石垣島・宮古島等)	63.9	54.9	66.4	15.3	72.3	363.1

は、各スコア又は%の第1位  
トータルイメージスコア :12項目のイメージの反応率を合計したもの

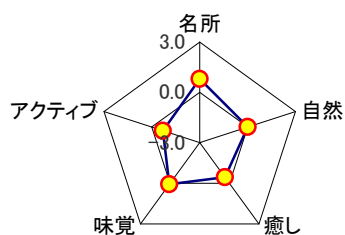
## ◆観光地のタイプ分類

- それぞれの観光地のイメージ（12項目についてたずねた）を因子分析により5因子に集約した。更にその因子を用いて108の観光地をクラスター分析し、以下の12タイプに分類した。



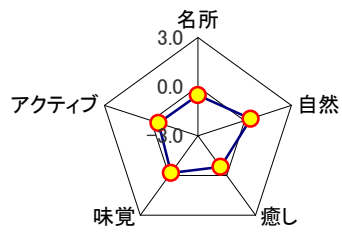
### 「食い道楽型」

- 「味覚」の因子スコアが目立って高い。
- 代表観光地：札幌、小樽、博多など。



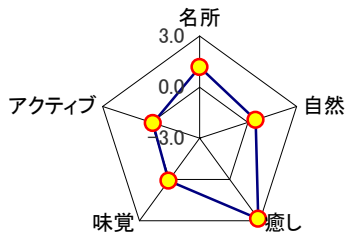
### 「古典的観光地型」

- 「名所」の因子スコアがやや高い以外は、他の因子スコアが0に近いかマイナスの値を示している。
- 代表観光地は、萩・津和野・秋吉台、白川郷、出雲など。



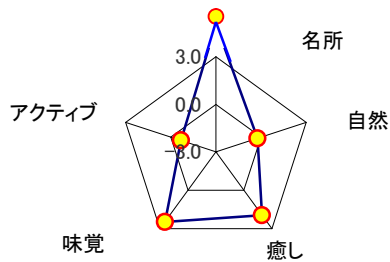
### 「景勝地型」

- ・「自然」がわずかにプラスを示している以外は、すべての因子スコアがマイナスとなっている。
- ・代表観光地は、男鹿半島、鳴門、那智・勝浦など。



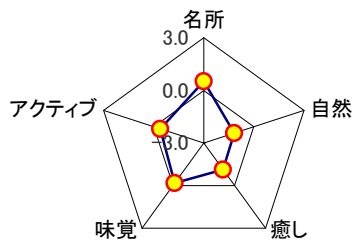
### 「癒しと名所型」

- ・「癒し」の因子スコアが目立って高く、また「名所」の因子スコアも比較的高い。
- ・代表観光地は、箱根のみ。



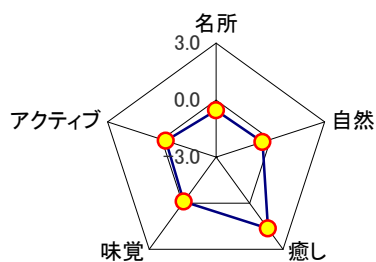
### 「心癒される食と文化の都型」

- ・「名所」の因子スコアが際立って高い。また「味覚」と「癒し」もそれぞれ高い。
- ・代表観光地は京都のみ。



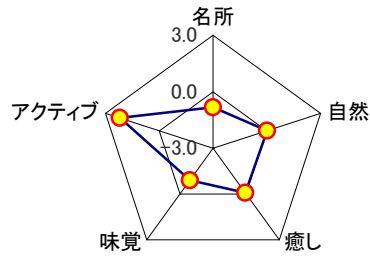
### 「スポット名所型」

- ・「名所」のみがわずかにプラス。他の因子は全てマイナスで、「自然」「癒し」の因子スコアは目立って低い。
- ・代表観光地は姫路（姫路城含む）、水戸（偕楽園含む）、岡山（後楽園含む）など。



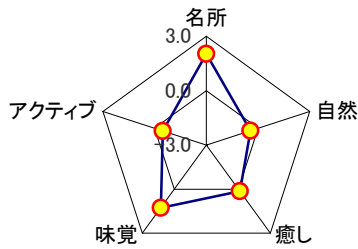
### 「温泉保養型」

- ・「癒し」の因子スコアが目立って高い。
- ・代表観光地は登別、鬼怒川、別府など温泉地が主である。



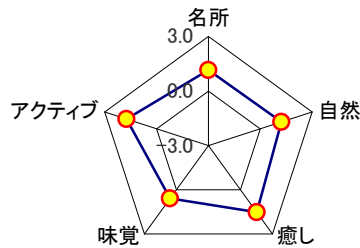
### 「ウィンタースポーツ型」

- ・「アクティブ」の因子スコアが目立って高い。
- ・逆に「味覚」「名所」の因子スコアは低い。
- ・代表観光地は志賀高原、越後湯沢、蔵王などのスキー場が多い。



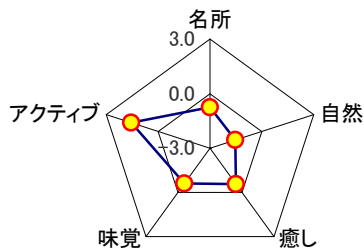
### 「独特の雰囲気と味の街型」

- ・「名所」と「味覚」の因子スコアがそれぞれ高い。
- ・代表観光地は、鎌倉、長崎、神戸などの古くからひらけた土地である。



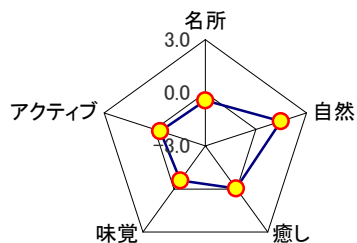
### 「本格リゾート型」

- ・他のクラスターに比べ5つの因子スコアが平均的に高く、比較的バランスの取れたレーダーチャート。
- ・代表観光地は、沖縄本島リゾート・景勝地、沖縄離島部（石垣島・宮古島等）、軽井沢の3ヶ所。



### 「テーマパーク型」

- ・「アクティブ」の因子スコアが目立って高い。対照的に「自然」の因子スコアはかなり低い。
- ・代表観光地は、ユニバーサル・スタジオ・ジャパン、シーガイア、ハウステンボスなど人工的な観光施設。



### 「大自然景勝型」

- ・「自然」因子のみが高く、他の4因子は全てマイナス。
- ・代表観光地は、層雲峡・大雪山国立公園、立山・黒部・宇奈月、阿蘇などの国立公園が主である。